遠藤さんを守れ！

地域が浄業寺境内で決起大会

職場闘争を封殺しようという会社の意図が、遠藤分会長の解雇申入れでハッキリあらわれてきた。あたかも、企業整備反対闘争に全力をかけて立上つているときだけに、この会社の悪質なやり方にたいして〃遠藤さんを守れ〃の声は憤激とかわり、三月二十六日地元の荒尾一小校区の地連協が中心となつて、浄業寺の境内で盛大な総決起大会をひらいた。

浄業寺境内は人波でギツシリ埋つた

遠藤さんの問題は三月十三日の第一回団交ではじまつたが、荒尾一小の地域分会では職場の活動家遠藤さんを守り、職場闘争を守らなければならないと三月二十六日同校区の浄土宗浄業寺で午前十時から決起大会をもよおした。

この報を知つた他分会では、遠くは緑ガ丘の各分会をはじめ、社宅外来を問わず、早朝から組合員、主婦が決起大会場目指してぞくぞくつめかけ、境内は赤旗と白装束のデモ姿の組合員、主婦がギツシリつめかけ、ときならぬ風景に、閑散な附近の農家の目を見はらせた。

参加の各分会は分会旗を先頭に威勢よくデモで入場、本部の〃はたかぜ号〃を迎えて、約八百名が参加、「六千人の強制退職につながる職場分会長の首切り絶対反対」など四つのスローガンをかかげて大会の幕をひらいた。

坂田市長も激励

実行委員長の挨拶につづいて谷端五島、永野の組合、主婦会からメツセージがおくられ、政治局の酒井県議、荒尾の坂田市長、浦国鉄労組代表から激励がのべられた。

まず谷端支部長は、今日までの交渉の経過を説明して、あくまでも遠藤分会長を守らなければならないと、会社の悪質なやり方を激しい怒りをこめて説明した。

坂田市長も「純粋なる荒尾市民の一人である遠藤さんが、首を切られようとしています。三池炭鉱は三井のものでなく国民のものです。すなわち皆さんたちのものなのです。皆さんの固い団結で、会社の意図をおしかえしてください」と激励の言葉をのべた。

つぎは俺達の首だ

意見発表には河野利丸、田中義則益田武利、池田昭二の各氏が立ち「遠藤さんの首を切るという会社の悪らつな意図を、労働者の誇りである団結ではね返そう」と、会社の不当なやり方をなじり闘う決意を披瀝した。

荒尾一小校区の地域を代表した田中義則氏は「私どもの地域で、このような盛大な大会がもたれましたことを、みんなは非常に感謝しています。遠藤さんの首を会社にあたえるならば、つぎつぎと私たちの仲間から去らなければならない人が出てくるでしょう。この問題が、ただ一人の遠藤さんの問題だけではないことを私たちはよく知つています。あくまでもこんどのことは私たちの団結ではね返しましょう」と挨拶をおこなつた。

遠藤宅前でデモ

つづいてスローガン四項目を満場一致で採択、抗議文を採択して、大会は宮内出目の遠藤長市氏宅まで激励デモをおこなつた。

デモ隊は各分会ごとに編成され、ニユース・カーを先頭に延えんとつらなり、各分会ごとに遠藤氏宅まえでデモり〃頑張ろう〃と万才を三唱して散会した。

この激励デモ隊を迎えた遠藤氏一家は、親子が一家総出で道路上に激励隊を迎え、仲間たちの温い激励に目頭を熱くしてこたえていた

〃しつかり頑張つてください！〃〃しつかりネ！〃と声をかける者握手を求める者、みんなが自分のことのように心配して励ましあつている。

「仲間からひとりも首切りをださぬぞ」という気ハクが、この日大会に参加した人たちの面上にありありとうかべられていた。

大会に参加した老令のMさんは、遠藤さんは分会でも中軸となつて活動してもらつています。会社はそれで邪魔で仕方がないのでしよう。こんど遠藤さんの首切りを許したら、もう職場活動もしだいにされなくなると思います。組合でもこの問題では絶対に変な妥協はしないでください。私たちも最後までがんばります。」と、仲間のうえに襲いかかつている問題に懸念をかけ、決意を示していた。

また、外来分会だという主婦のひとりはこう語つていた。

〃首切り〃〃企業整備〃おまけに〃賃上げはゼロ〃と、まつたく会社は馬鹿にしています。組合でいわれる、くわしいことは私にはわかりませんが、ひとりでも首を切らせたら、あとが思いやられます。遠藤さんの奥さんも心配しておられるでしようが、はげましあつて闘つていこうと思つています。

敬　弔

去る四月三日、四山支部堀進工占部勝義氏は、けい肺のため死去されました。
ここに謹んで哀悼の意を表します。

三池炭鉱労働組合
三池炭鉱主婦会

汚職追放が使命

県政清浄化を語る浦川県議

税金で役人を養つているとまではいかんが、保守県政の汚職は目に余るものがある。このくされきつた県政清浄化のため四年間闘つて来た三鉱労組政治局員浦川守氏に、この汚職県政の息の音を止める大仕事、すなわち県総評や社会党、農民団体があげて支援するう崎多一氏の選挙参謀として、自己の県議選は中執・中央委員会の諒解を得て組織にすべてを託し、活躍している浦川県議と、電話で情報を交換してみた。

答える人　浦川県議
問う人　平島法政部長

ひらしま　ごくろうさんです。毎日大変でしよう。

うらかわ　大変お世話になつています。

ひらしま　どうですか情勢は、こちらは保守側は大分派手に金を使つているようですよ。

うらかわ　保守側が選挙に金を使うほど汚職に対する県民の怒りは燃えています。なにしろこんど保守が負けたらもつと汚職がバレるんぢやないかと思われる点が大いにありますね。

ひらしま　私は久留米地方の農村の話を聞いたが、う崎さんが水害や農民対策で余程世話されたのが評判がよかつたようですが

うらかわ　農村対策についてはエキスパートでう崎さんの農政については大いに期待がもてると思います。何しろこんどは農村票で勝敗が決るといわれているので、十分農村方面にも理解してもらえるよう努力したいと思つています。

浦川県議

ひらしま　大牟田も県知事、市長選にそなえて農村で非常な悪宣伝をしているようです。なんといつても、中央政府につながる県政・市政をというのが馬鹿の一つ覚えで流れていますね。

うらかわ　先日発行された「みいけ」で細谷大牟田市長、坂田荒尾市長がいつているように、法律上の交付金というのですからその心配はありません。とくに両市の場合は実績がモノを言つています。中央政府すなわち岸内閣はジエツト機の機種問題をはじめ、防衛庁関係の汚職では頭目である岸首相さえ政商と結んで汚職をしているのではないか、財離を説明せよといわれても今日なおやつていないが中央政府につながる汚職県政というならまた話は別ですね。

ひらしま　そちらに情報が入つていると思いますが、会社関係はこんどの企業整備と選挙闘争を結びつけ、ストで大牟田は不景気になるアカの知事や市長は御免だなどといつて、出入の業者などを使つてさかんに運動しているようですが。

平島法政部長

うらかわ　前回の知事選でもいよいよ終盤になると、ヤレアカだ総評のヒモ付だ、火炎ビンをなげたなどデマを飛ばしましたがこんどは県民のみなさんがよく知つていてダマサレないぞという声があります。企業整備反対ストの理由を知らんで、よく炭労はストをやる、不景気をつくるといわれるが、話を十分するとなるほどそれは会社が悪い、政府が悪いということになり、選挙闘争をすすめるのに理解していただいているので、選挙闘争と同時に組合の情宣が必要なことを十分知らされました。

ひらしま　大変急がしそうですからまた電話しますが、今後の日程はどうなつていますか。

うらかわ　ご無沙汰ばかりしてはすまないので八、九日う崎候補と大牟田方面にまいり、終盤の二十、二十一、二十二日大牟田で挨拶させて頂くつもりです。全県民、働く者の希望であるう崎氏の当選のためガンバリますのでみなさんによろしく。

国民会議結成さる

安保改定阻止・廃止へ

「国民の力で日米安保条約改定を阻止し、廃止をかちとろう」のスローガンを掲げた日米安保条約改定阻止国民会議は三月二十八日午後東京駅八重州口の国鉄労働会館で結成大会をひらいた。大会には百三十四団体六百二十人が参加、「当面の改定を阻止し、その廃止を要求し、進んで日本の積極的中立を実現させる」ことを基本とする運動方針をきめるとともに、四月十五日を全国民統一行動日とすることをきめ、運動を急速に盛上げる態勢をととのえた。

四月十五日が全国民の統一行動日

労働者一齊職場大会

結成大会で可決された運動方針要項は次の通りである。

＜目標＞当面の安保条約の改定を阻止し、その廃止を要求し、進んで日本の積極的中立を実現させることを共通の運動目標とする。

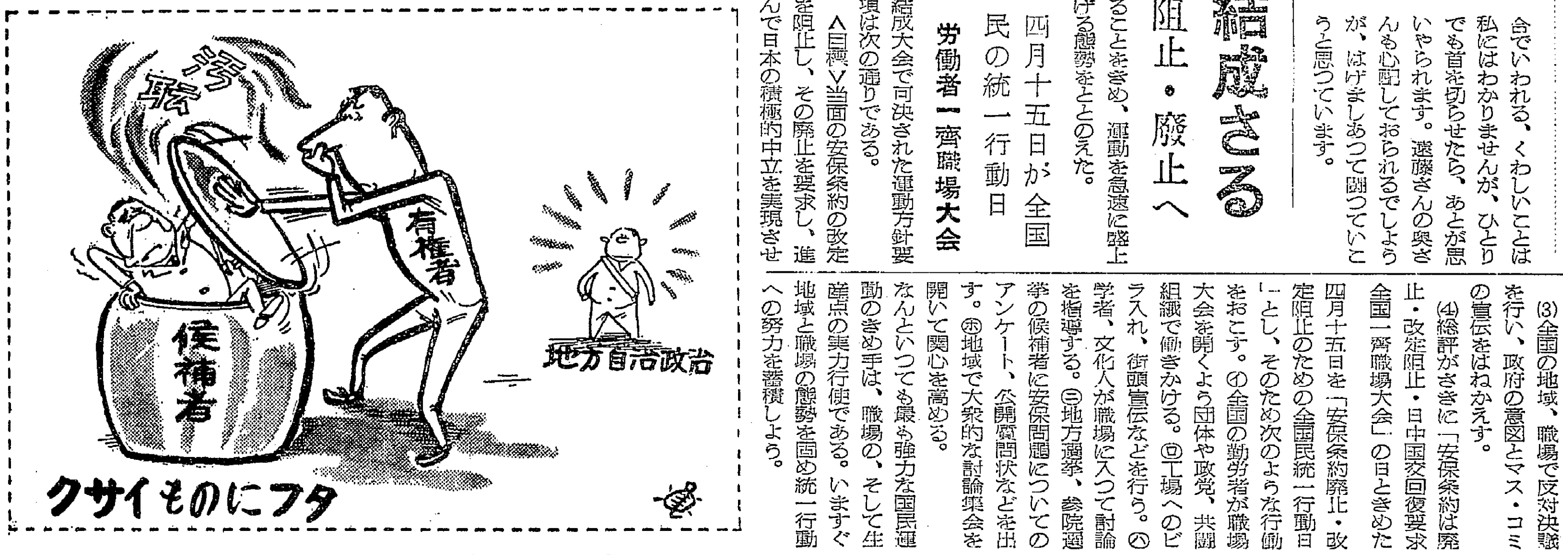
＜具体的方針＞(1)まず啓蒙、宣伝を活発にする必要がある。そのため各団体機関紙が積極的に安保問題を取上げる必要がある。

(2)地方に県民会議や市、町、村会議をくまなく組織する。組織のかたちはその地方の実情にみあつてさまざまになろうが「安保」と闘う点に共通の目標をおく。

(3)全国の地域、職場で反対決議を行い、政府の意図とマス・コミの宣伝をはねかえす。

(4)総評がさきに「安保条約は廃止・改定阻止・日中国交回復要求全国一齊職場大会」の日ときめた四月十五日を「安保条約廃止・改定阻止のための全国民統一行動日」とし、そのため次のような行動をおこす。㋑全国の勤労者が職場大会を開くよう団体や政党、共闘組織で働きかける。㋺工場へのビラ入れ、街頭宣伝などを行う。㋩学者、文化人が職場に入つて討論を指導する。㋥地方選挙、参院選挙の候補者に安保問題についてのアンケート、公開質問状などを出す。㋭地域で大衆的な討論集会を開いて関心を高める。

なんといつても最も強力な国民運動のきめ手は、職場の、そして生産点の実力行使である。いますぐ地域と職場の態勢を固め統一行動への努力を蓄積しよう。



クサイものにフタ

宣　言（要旨）

本日、「安保改定阻止国民会議」の結成大会に参加した私たちは大会の名においてひろく各階層の国民につぎのように訴えたいと思います。

一、私たち日本国民の希望は、安保条約の改定ではなく、安保条約のキズナを断つことであります。それゆえに安保条約の改定をゆるすことはできません。

一、私たちは日本がアメリカの原子戦争の片棒をかつぎ、沖縄、小笠原をふくむ日本をそのための基地としてつなぎとめようとする安保改定に反対します。

一、私たちは、日本の自衛隊の核武装や海外派遣に道をひらく安保改定に反対し、中国にたいする敵視政策の転換を要求します

一、私たちは、安保改定によつて国民の広汎な権利が抑圧され、民主主義の破壊、教育の統制、言論の抑圧がつよめられ、あらたな軍事政策のもとで国民の生活が破たんの危機にさらされることに反対します。

一、私たちは、日本の平和と安全の道が、日米安保条約とその改定によつてではなく、日本がいかなる軍事ブロツクにも属さず平和憲法を守つて民主主義の体制をつよめることこそ重要であると思います。日本の平和と繁栄への道は、安保改定の中にはなく、むしろこの改定を阻止する闘いの中にこそひらけていくものと確信いたします。

一、私たちは、あらたな戦争準備への道を閉ざすために、全国民が力をあわせて、安保改定を阻止することを、日本の平和と独立をもとめるために、さし迫つた安保改定の意図をうちくだくことが何にもまして重大であることを訴えたいと思います。

私たちは、安保改定阻止国民会一、議結成大会の名において、安保改定を強行しようとする岸政府に抗議するとともに、すべての国民がその職場において、地域において安保改定阻止のために手をつなぎその組織をつくつて闘いを前進させるために、全力をあげて闘うことを誓います

解　説

チベット反亂の背景

中国の自治区予定地チベツトでさる三月十九日、チベツト人の一部による反乱がおきた。

三月十日、チベツト人が信仰しているラマ教の教主で中国人民代表大会常任副委員長でもあるダライ・ラマ氏が同氏の希望で十日、人民解放軍チベツト軍区礼拝堂で観劇した。ところがこれを反乱分子たちは人民解放軍がダライ・ラマを拘留しようとしていると大々的にデマを流し、これを口実に武装反乱をおこした。

チベツトは人口百二十万、一九一九年中国人民解放軍が同地に進駐してから、中国の自治区になることをめざして、改革がすすめられていた。

しかし、チベツト人の全部がダライ・ラマを生き神とし、教主には絶対服従するというラマ教徒であることから、その改革にはきわめて慎重な態度をとり、改革はきわめてゆるやかにおこなわれていた

チベツトには未だ封建地主や反動的僧侶が残存していた。そして彼等は絶えず蒋介石グループや外国帝国主義と結びつき、彼等の援助のもとに反乱を企てていた。こんどの事件は明らかにこうした背景のもとにおこなわれた。

チベツト反乱の全ぼうが明らかになつた二十八日、アメリカの国務省は声明を発表し「チベツト人に深い同情をよせるとともに、合法的なチベツト政府を解体させることは明らかに中共がチベツトの政治的、宗教的自治体制を破壊しようとする意図である」と非難した。

こうしてアメリカは純然たる国内問題である中国のチベツト問題にたいして干渉する態度をしめした。

また台湾の蒋介石グループも「わが国（蒋介石軍）もチベツトで中共軍と闘つている」とのべ、公然と闘う挑発をおこなつていることを明らかにした。